大分高専野球部の諸君へ

毎年繰り返されることですが、また暑い夏がやってきて、高野連野球の甲子園大会の県予選が始まります。

厳しい暑さの中、諸君達が汗だくで白球を追い、また塁間を駆け抜ける姿を想像し、私のみならずOB会員の皆も胸を締めつけられる何かを感じ、明野台の母校グランドに思いを馳せております。

新型コロナ感染は下火になったとはいえ、夏の野球場では熱中症との闘いもあります。十分な対策・準備をして対応してください。

毎年同じことを言いますが、**OB会の「夢」は、諸君がいつの日か甲子園の土を踏むことです。**そのためには、当OB会の組織の規模・歴史も、他校に比べ小さなものですが、OB会は可能な限りの応援、支援はやっていきます。

OB会としては、会員の数を増大し母校野球部への支援金を拡大しようと懸命に取り組んでおります。

新聞紙上で知り得た事でのことで申し訳ありませんが、ここ数年大分県の高校野球のレベルが上昇しているのは事実です。そのような中で県大会を勝ち抜くことは、至難の事であることは充分に理解出来ますが、戦う以上日頃鍛えた力を発揮し、後悔の残らない戦いを見せてください。

よしんば戦いに敗れても、全員が頭を垂れることなく、上を向いて、且つ胸を張って帰校してください。

OB一同は、「今年の大分高専は良いチーム**だった」と言われる朗報**を、期待しております。

令和4年6月

大分高専野球部OB会

会長　安藤 文紀